



自分で選んだ道に向けて

教頭 上野 智恵美

連日の大雪に見舞われ、真っ白な街並みや道路脇の大きな雪山、狭い歩道を一列に並んで懸命に歩く人々を見ると、北国に住む我々札幌人の逞しさを感じずにはられません。厳しい寒さが続き、今はじっと春を待つ季節ですが、本校では変わらず生徒たちの明るく朗らかな笑い声が聞こえています。そして、進路と真剣に向き合う三年生には、どこか凛とした空気が漂い始めました。そんな彼らの姿を見るたびに、私はかつて自分自身が学生だった頃にいただいた、ある大切な言葉を思い出します。

それは、中学三年生の頃の事です。学校事務をされていた方から、何気なくかけていただいた言葉でした。当時の私は、親の仕事の都合により、実際に受験した高校とは別の学校へ編入学することになりました。手続きの際、思い描いていた高校生活とは違う進路を歩むことに、不安と戸惑いを抱えていた私の気持ちを察し、その方は帰り際にふと仰いました。「いろいろな学生を見てきたけれどね……。学生時代はね、『自分が何をしたいか』が見つければ、それで十分なんだよ」

その言葉は、当時の私の心にストンと落ち、高校進学後も大きな目標として心に残り続けました。どこの学校へ行っても、置かれた場所で「自分は何をしたいのか」「何ができるのか」という問いに向き合い、挑戦していくこと自体が、学生時代の最も尊い目的なのだと気づかせてくれたのです。この言葉は、今も私の教育活動の根底に流れる大切な指針となっています。

「自分が何をしたいのか」「何ができるのか」を見つける作業は、決して楽なものではありません。自分の好みや強みだけでなく、苦手なこと、弱さ、未熟さといった部分にも向き合わなければならないからです。三年生の皆さんは、進路選択に当たり、何度も自分自身と対話し、考え抜いたことと思います。家族や先生の助言を受けながらも、最後に自分自身が納得するまで悩んだその時間は、これからの人生を支えるかけがえのない時間であったはずです。

自分で考え、選び取った道には、大きな意味があります。人から与えられたものではなく、考え抜いて自ら決めた道だからこそ、そこに責任と誇りが生まれます。そして、自ら決めた道であれば、たとえ困難なことがあったとしても、向き合う強さと勇気が湧いてくるものです。

一・二年生の皆さんも、日々の生活の中で「自分は何に心を動かされるのか」「どんなことに一生懸命になれるのか」を問い続ける時間を大切にしてください。新たなことに挑戦したり、何かに夢中になったり、友達と一生懸命に活動したりする経験の全てが、自分を知るための貴重なヒントとなります。

生徒の皆さんが自分の将来を真剣に考え、自分と向き合い選び出したその道を尊重し、全力で応援していきたいと思います。

部活動 大会出場報告

【女子バレーボール部】

1月17日(土)、18日(日)に白鳥杯に参加しました。以下、結果報告です。

1日目 リーグ戦 中央 対 アルテミス札幌 0-2 中央 対 東栄 2-0

2日目 トーナメント戦 中央 対 柏丘 2-0 中央 対 向陵 1-2

たくさんの応援をいただきました。ありがとうございました。



【吹奏楽部】

1月12日(月・祝)にアンサンブルコンテスト札幌地区大会が行われ、管楽八重奏が銀賞を受賞しました。また、1月25日(日)では、本校体育館で、1・2年生全部員参加の、アンサンブルコンサートを開催し、たくさんのお客様に来ていただきました。ありがとうございます。2月22日(日)には、中央小学校スクールバンド卒業演奏会にゲストとして出演します。卒業演奏会で合同演奏をさせていただくことを、とても楽しみにしています。今後とも応援よろしくお願いします。

「さっぽろっ子雪ウィーク」における取組

1月27日から2月5日にかけて、1・2年生と特別支援学級6組の生徒が、美術の授業と特別活動の時間で雪像づくりに取り組みました。昨年度は雪不足のため惜しくもデザインのための活動となりましたが、今年度は当日の天候にも恵まれ、絶好の活動日和となりました。生徒たちはバケツや端材などの道具を器用に使いこなし、アイデアを形にしようと熱心に雪と向き合っていました。

～1年生～



～2年生～



転出することがわかったら

保護者のお仕事の関係などによる転居・転出がわかりましたら、できるだけ早めに担任か教頭まで御連絡ください。新年度の準備のため、できるだけ早く情報をいただけると助かります。御協力をお願いいたします。

～特別支援学級6組の作品～

